

たんほほ

NO 1 3 2

H10年 6月 1日

— 発行 —

〒869-1217
熊本市菊池郡
大津町森 54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
☎096-293-8100

任せる

施設長 田中 稔

ここ数年の異常気象は、まだまだ続いているようです。この春は異常に暖かく(暑く)、4月に観測史上、最高の真夏日を記録しました。

今年の「三気の会」主催の「三気の里」「三気の家」開園祭は4月26日に開催されました。その前の1週間、梅雨を思わしめるような雨続きでしたから当日の天気が心配されました。子ども達の願いが通じたのでしょうか、汗ばむほどの快晴になりました。他の理事の方と話したのですが、そう言えば開園祭が雨だったという記憶は思い出せません。

私が施設長として専任してから施設運営の方針として、各担当、係が自分の役割、責任を果たすことによって組織として整然と施設が動いていくという事を言ってきた。

ました。

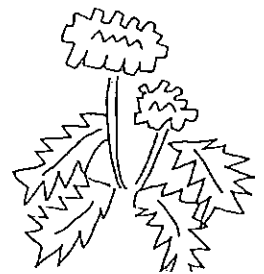
私の役割は、

- 一、基本や原則や施設運営の根幹に関わることのチェック
 - 二、将来を見据えた視点を持つ
 - 三、広い視野でものを見る
- ということですよ。

従って、これ以外のことは、なるべく職員に「任せる」事にしていきます。

今回の開園祭も、庶務主任の田之上君、副の植本君、介助員の砂野さん、彼らが中心となって準備、開催、進行、後片付け、お礼等まで、係になった他の職員と一緒に、心して整然と行われました。安心して見ておられます。私は、大卒と方針を承認し、当日挨拶をしただけです。

開園祭には忙しい中、地元大津町の荒木町長様、施設のある陣内地区、森地区の方々、法人役員の方々、多くの高校、短大等の若い



元氣一杯の学生ボランティアの人達、毎年強力な助っ人として来ていただく九州ラーメン党の方々、野点を設定していただく先生、そして何よりも保護者の方々、これから総勢500名近い方々が参加されました。

天気が良かったことや工夫された各コーナー(ゲーム、工作、オリエンテーリング、キッズ、喫茶、カラオケ)等もあって、楽しんでくれたと思います。

主役である園生達自身が、こういう行事に参加できるように頑張って、楽しんでくれていることを何よりも嬉しく思いました。

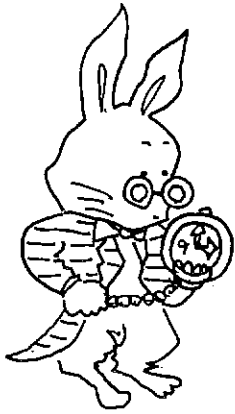
今、思うこと

渡辺 京子
真一郎が三気の里に入所して、9年目を迎えました。ジュースの

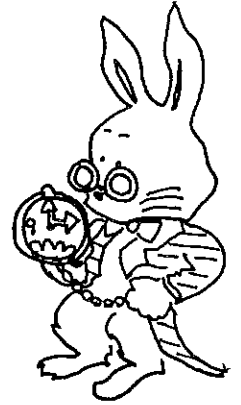


缶一つ開けることの出来なかったこともが、今では靴下を自分で履き、床屋さんで散髪をし、ラジカセを操作して余暇を音楽で楽しむ。驚く程の成長ぶりです。親元を離れたの多くの経験が刺激になったのでしょうか。今風に言えば、三気の里が合っていたという事になるのかも知れません。勿論、指導員の方々の熱意が真一郎を変えたと言っても過言ではありません。子供の成長は又、親の励みにもなることがあります。数年前、私が大病をして、1カ月振りに子供に会った時のことです。「真一郎くん」と声を掛けた瞬間、ニコッと私を見て、それはそれは、今まで見たことのないような嬉しそうな顔を見せてくれました。親が生きているということが、こんなにも子供の喜びになるものだろうか、この時ほど感じたことはありません。真一郎の笑顔は、百万ドルの笑顔です。この笑顔を絶やさない為にもまだまだ頑張らねばと思う今日このごろです。





班ニュース



1 班 - いつも元気なパッキン班

春の心地よい風が恋しい季節となって来ました。

4月から新しいメンバー2名(職員2名)が加わり一段とパワーアップしたパッキン班がスタートして、はや2カ月が経ちました。作業が終わると『はい、できました!』と、大きい声で知らせてくれる功一君、笑顔がチャーミングな憲吾君、二人ともやっとパッキンの作業に慣れ頑張っています。現在1班では、主にパッキン作業を行っていますがその他にも午前中いくつかの班に分かれて作業を行っています。

まず一つ目はパッキンです。主なメンバーはま一君と洋ちゃん、洋ちゃんは洗濯物の仕分けも頑張っています。二つ目は外作業です。メンバーは俊ちゃん、英くん、健ちゃん、よっちゃん、憲ちゃん、主に鶏の世話や畑仕事をしています。三つ目は廊下掃除班で、憲吾君、勝ちゃん、麻衣ちゃん、まっちゃん、舞永君がいつも汗を流しながら頑張っています。最後に1班ではハーブも栽培しています。ハーブの栽培は難しく、あまり水をやり過ぎてもいけない植物なのでしーちゃんやゆかりさん、建治郎君、功一君が慎重に栽培しています。いつも元気に散歩やお勉強をしているあっこちゃん。

みんな毎日一生懸命頑張っているの、一度みんなの仕事ぶりを見に遊びに来て見ませんか? 麻生君

3 班 - 緑に囲まれて

薄暑の候、風薫る爽やかな季節になりました。皆様、如何お過ごしでしょうか? 去る5月19日(火)3班のメンバーで熊本動植物園へ出掛けました。雄ちゃんとは、現地で落ち合う事になっており、AM11:30に到着すると御両親が雄ちゃんを連れて待っていらっしゃいました。5月らしい本当に気持ち良い風が沢山吹いている日でした。動植物園は、平日でしたが家族連れやカップル、幼稚園児、学生等沢山の人で賑わっていました。広場の木陰に陣取って、各々弁当を芝生の上で食べました。

(保護者の方々より、頂いたジュースをみんな自分で選んで飲みました。差し入れありがとうございました。) ガラス温室には、シンビジウムやバナナの木等沢山の珍しい植物達が目を潤してくれました。レクリエーションに今年度からはお小遣いを1000円持って行けるようになった為、掃りにはみんなそれぞれに担当職員に欲しいおやつを買って貰って満足気でした。修ちゃんは自分で「メリーゴーランドに乗る。」と言って乗って楽しんでいました。帰り道、テクノリサーチパークで(また?)おやつを食べて1日緑に囲まれた素敵な素敵な1日でした。

有働さんと剛君が今回は不参加だったので、来月は全員揃って行ける事を楽しみにしています。

最後に作業の方ですが、次々と受注(木工製品)も増えて来て、てんやわんやししながら、それでものんびりと取り組んでいます。色々とベテランの職員を中心に新製品も作っていますので、是非作業棟へお立ち寄り下さい。お待ちしております。

国岡

4班・珍客 乱入!!

若葉が、目にやさしく映るこのごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、去る5月26日に、私たち農耕班はレクリエーションを行いました。(いつもお世話になっている瑠璃温泉とホテルの里です。)

昼食を食べ終わった後、三気の里を出発。のんびりと(?)温泉を満喫した後はおやつを食べにテクノロジーパークへ。そこでおやつを食べてまたまたのんびりしていると、突然『ワンワンワン。』と、犬が3、4匹こっちに向かって走ってくるではありませんか!みんなは突然の珍客に走って逃げたり、叫んだりの大パニック。お昼寝タイムが無くなったのは言うまでもありません。ゼーゼー・ハーハーと、息を切らせながらバスに乗り込みました。その後はおまちかねの豪華なディナー。レストランでお上品にフォークとナイフを使い(ん?)夕食を食べ、ホテルを見に旭志村のホテルの里にいきました。“乱舞”という程多くはいませんでした。一斉に光るホテルの光にしばしうっとりしながら、みんなで眺めて帰ってきました。

走ったり、叫んだり、うっとりしたり…と忙しい一日でしたね。これから作業(草との格闘)もさらに忙しくなるけど、みんなで梅雨を吹き飛ばす位頑張ろう!…そういう私が、一番バテてるかも…

広瀬



5班・旅立ち

照りつける太陽に手をかざしながら、今日もまた、空を見上げます。(ふーっ。)

「もうすぐ6月だよ。」…という声が聞こえてきそうで聞こえてこない、そんなこの頃の空模様にし辟易しているのは私だけでしょうか…

毎日が、この“空”との闘いであり、自己との闘いである我が園芸班。その後ろ姿はたくましく、私は、その背中にすがる思いの毎日です。14人の仲間一人一人が互いに助け合い、励ましあって、今のみんなの姿があります。私は、そんなみんなの仲間になれて、ちょっぴり“鼻高々”です。…こんなふうに少しずつではありますが、自分の中でゆとりらしきものが芽生えつつあります。そんなある日、私にはショッキングな告白がありました。

「麻生さん、私もうここを辞めるとですよねえ。」「はあ? !なんでまたいきなり!」「いやあ、お母さんと色々はなしたんですけどねえ、やっぱり遠いけんですよねえ。なんか、大変でしょう…。」「…。」(なるほど、なるほど。しかし、それは真か否か。ふうん。)

その告白からそう速くないある日、彼女の退所が正式に決まりました。今度は、自宅からも近距離にある作業所です。私は、自分の心に寂しい風が吹く前に、嬉しい爽やかな風が吹きました。前々から、その距離の遠さにかなりのご負担があるのでは…。と勝手ながらに思っていたからです。併せて、彼女には次の大きなステップを踏める力があると、信じていました。ただ、その力を、私たちがこれからどのようにして引き出してあげられるのか、とても不安で、自信もゆとりもなく、ただいたずらに時間だけが過ぎていっていました。ですから、今回のこのお話しは、三者の望み願ったり叶ったりで、絶妙なタイミングだったのです。それもきっと“幸せの黄色いハンカチ”ならぬ、“幸せの黄色いワンピース”をお気に入りしていた、おしゃれの大好きな久美加さん。あなたが頑張ってきたからこそだと思います。その優しい心、素敵なお顔、ひたむきな姿勢…全てあなたの宝物です。

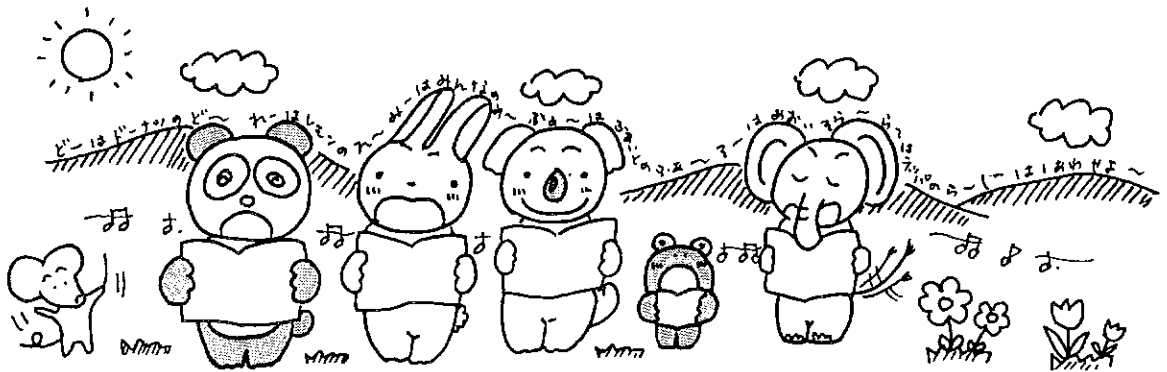
自信と誇りを持って。幸せの黄色いワンピースも忘れずに。そして、今度会うときは、きっと“陶芸家・久美加”となっていることを願っています。元気で、いってらっしゃい。

麻生由

2班・わ～い！五月晴れ

はじめとした梅雨の一時の五月晴れの中、2班レクリエーションで小萩山公園へハイキングに行きました。何度か道を間違えながらも、無事現地に到着。駐車場より少し上にある広場にブルーシートを敷いてお弁当。前日に自分たちで選んだお弁当だけに、皆とても美味しそうに食べていました。その後ハイキング（山登り）があることも忘れて（知らないで？）…。

食事が終わり休憩した後、2グループに分かれてハイキングをしました。元気組は山登り。のんびり組は散策。わたしはのんびり組の方で森林学習館に見学に行ったり、展望台に行ったりと、ゆっくりのんびりと散歩でした。元気組は、暑い中急な坂を上り下りし、かなりのいい汗をかいたようです。職員は体重を少しでも（体重測定が近日中にあるので）減らそうと汗をびしょりかいていました。ハイキングの後、ここでのんびりお昼寝でもできたら、それこそ最高の1日だったのでは？と思いつながら、クーラーの効いた涼しいマイクロバスに乗り込んで帰園してきました。 八木



春の登山

高田 一通

去る5月15日（金）に毎年恒例となった春の登山を行いました。

数日前からの激しい雨で、開催も危ぶまれましたが当日は天候にも恵まれ、登山中はほとんど雨もありませんでした。

今回のコースはAとEグループ5つに分け、大分県にある久住山山頂などを目指し、そのまま近くのキャンプ場に一泊して帰るA・Bグループと、矢護山・鞍岳を目指すC・Dグループ、四季の里ふれあい広場を散策するEグループでそれぞれ活動しました。

A・Bグループの久住山登山では、34名の園生が山頂や非難小屋を目指しました。久しぶりの山登りはさすがにきついのか、汗をかき、息を切らしながら登る人もいましたが、回りにちらほらと咲いているミヤマキリシマに心を和ませながら無事山頂に登りつくことができました。

C・Dグループが登る矢護山・鞍岳は、長雨のせいか登山道に危険箇所がいくつかあり、その為別のルートから登り始めました。し

ばらくすると小雨がぱらつき早めに下山しましたが、34名全員が各々の実力を発揮し、事故等もなく終えることができました。

Eグループも旭志村にある四季の里で散策を楽しみました。

こうして、登山は無事終わることができましたが、今回の矢護山・鞍岳登山道の崩れなどを見てもいろいろ見直しや検討事項もでてきました。これからは安全を第一に考え、企画・実行して行きたいと思えます。皆さん、本当にお疲れ様でした。

栄養の話「スイカ」

今回は、今から旬を迎えるスイカについて書きます。スイカはカリウムが豊富で利尿効果が高く、腎臓病の人、むくみのある人、血圧が気になる人などに最適です。

また、体を冷やす作用もあり、日射病、夏バテのときに効果があります。そのまま食べるほかに、外皮と果肉の間の白い部分はぬか漬けや塩漬けにすると美味しく食べられますし、日焼けした顔に当てると火照りが治まります。 上村



療育雑記

病院へ行くこう

平川 聖子

英君は、とっても怖がり。だから病院に行くのはねえ……。

この「病院に行くのはねえ……」は、病院に行っても痛いところ、悪いところをドクターに見せられないなら、処置のしようがないし、不安定にさせるだけなら行かない方がまし、といった担当の余計な心配。昨年、睡眠の乱れから体重が減り、体力も衰えてしまった英君は、時折足や腰が痛そうだったにもかかわらず、「病院に行くのはねえ……」とあまり無理をさせず様子を見ることしかできなかった。

しかし冬場、眠れない夜に衣類で手や顔をこすり続けて手、腕、顔がお猿さんみたいに真っ赤になった。私はこするのを止めるしかないと必死で手をつないで行動していたが、二十四時間対応できる訳もなく、真っ赤な部分は広がる一方だった。そんなときお母さんは一言「かゆくてこすってるみたいだから、病院に連れて行って下さい」と言われた。内心「英君を病院に連れて行くの×!？」と思い

つつ、ダメでもともと開き直って皮膚科に通院してみることにした。英君が通院から帰って来て、引率した職員の様子を聞くと、ちゃんとドクターに手を握らせて診てもらったとのこと、驚きだった。

おまけに真っ赤な部分には湿しんができていたそうで、いただいた薬でみるみる治り、手や顔をこする行動もなくなつた。早く通院すれば良かったと英君に申し訳ない気持ちが残った。

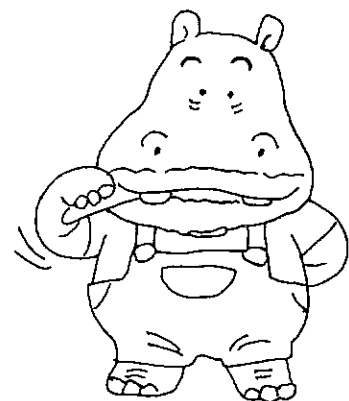
春になり、英君に歯科通院のお呼びがかかった。私はまたまた、「英君を病院に連れて行くの×! ?」しかも歯医者」という気持ちになった。前回の皮膚科は診せるだけでよかったが、歯科治療は大きな機械の付いたベッド、機械音、そしてちょっと痛い、不安な材料が多い。それでもやはり開き直って通院してみることにした。診察室に入ってソワソワして、あちこちのドアを開けてみせたのはポーズだったのか、ベッドに横になると意外とリラックスして麻酔の注射を受け、機械で歯を削り、薬を詰めてもらうまでほとんど抵抗しないまま治療を終えてしまった。

驚きというより、ただもう嬉しく

て、帰ってからみんなに自慢して回った。

この日、私の「病院に行くのはねえ……」は「病院に行かなくちゃねえ!」に変わった。開所当時から園生はもう30歳前後になっている。今までは元氣一杯だったが、これからのような病氣が出てくる年齢である。病氣にならない体を作るのはもちろんのこと、病氣になったときに治療を受けられる人であることも大切だと思う。

いざという時に病気を怖がらなくても済むように、病気を治して健康な生活が送れるように、病院に行く練習も必要ではないだろうか。そんなことを考えさせてくれた英君にまた感謝である。そして今度英君に腰痛が襲ったときには整形外科に通院して検査をしてもらおうと心に決めていく。



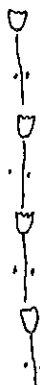
開園記念祭

田之上 健一

去る4月26日、快晴のもと社会福祉法人三気の里開設11周年・三気の家開設4周年のイベント、開園祭が催されました。園生の皆は勿論のこと保護者・ボランティア・地域の皆様と、沢山の方々に参加して頂き盛大な記念祭となりました。ありがとうございます。

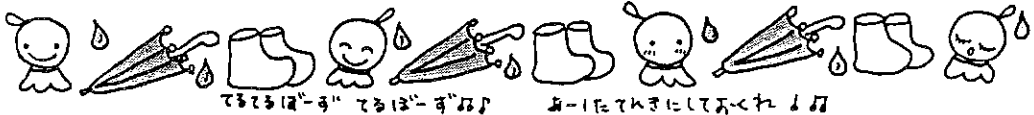
今回の企画進行は新しい行事係中心で不慣れなものでしたが、メンバーが新しいということは逆にな新鮮な風を入れることもでき、自分自身満足できるものであったと思います。当日は大津町町長様をはじめ地域の皆様、保護者会の方から温かいお言葉を頂きました。

ボランティアでは、九州ラーメン党の方々を始め、野点ではお茶の先生方や各種学校の皆様など、とても親切に快く協力して頂きました。こうした人達に支えられながら、三気の里は歩んでゆくのだなとつくづく感じさせられました。お礼は言い尽くせませんが、これからも協力頂きながら見守ってください。本当にありがとうございます。



6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 ☽ 5歳レク	5	6
	7 ☽ 7歳レク 洋一くん(17)の誕生日	8 福永さん(32)の誕生日	9 ☽ 3歳レク 友和くん(22)の誕生日	10 林田くん(24)の誕生日	11 ☽ 4歳レク	12 13 ☽ 保護者会
14	15	16 ☽ 2歳レク	17	18	19	20
21	22	23 泰貴くん(22) 松井くん(25)の誕生日	24 ☽ 1歳レク	25	26 / たんぼほ編集日	27 ☽ 帰宅バス
28	29	30	31	☽ 福永さん・洋一くん・友和くん・林田くん・泰貴くん・松井くんお誕生日おめでとう! ☽ 7日帰き大会 ☽ 13日保護者会 / 26日タンボホ編集 ☽ 27日帰宅バス		



ボランテニア通信

初夏の候、皆様如何お過ごしでしょうか？先日(4月26日)の11周年記念開園祭には地元の大津高校より7名、菊池高校より13名、尚綱短期大学より1名、熊本社会福祉専門学校より10名、長崎純心女子短期大学より3名、社会人1名、計35名。大津町文化協会(野点コーナー)、ラーメン党の皆様のに来て戴きました。皆様がお忙しい中、参加して戴いたお陰で素晴らしい一日になったとスタッフ共々感謝しています。本当に有り難うございました。またお会い出来る日を楽しみにしています。

園岡

☆開園記念祭

☆散髪 園田美津子・田端美智子
☆生け花 西村 栄子

- 室園 典子・江藤ひとみ
- 松村 祐子・西本美由紀
- 日高 千愛・中嶋英津子
- 坂本 理恵・阿蘇品妙子
- 松本 陽子・濱村いづみ
- 成瀬 久美・宮本久美子
- 改喜 沙織・平田ひろみ
- 松永 恵実・藤原由紀子

食堂学芸作業中

- 金田 幸子・栃原佐野香
- 杉本 千佳・安武真由美
- 渡辺 えみ・吉田麻衣子
- 大塚 朋子・坂本和津江
- 高橋 正美・古庄 由季
- 山口 由紀・竹下 栄里
- 河上 知美・金森 陽子
- 久保 優子・竹田 愛子
- 荒木 スズ・大塚 哲子
- 清本 和子・龜山 美幸
- 池田妃佐子・堂下 恵
- 小林 眞一・戸高 愛

※敬称略

三気の里で働き始めて、あっと言う間に2カ月が過ぎようとしています。食事の準備や後片付け、食堂掃除など、様々な所で園生が手伝いに来てくれます。最初は驚いた反面、わたし自身も負けないよう頑張らなければいけないという気持ちになります。これからも進んでお手伝いに来てほしいと思います。その他、食器と椅子が新しくなりました。投げたり壊したりしないように大切に扱ってほしいと思います。

矢野

